

# きょうの料理60年目突入！

## 生放送 月刊きょうの料理スペシャル

11月6日（日）Eテレ・後3時30分～5時00分 生放送

昭和32年11月に放送を開始した「きょうの料理」は、来年で60年の‘還暦’を迎える。そこで60年目最初の月の「生放送 月刊きょうの料理」は、放送時間を90分に拡大したスペシャル版でお送りする。番組ではホームページやTwitterから届く視聴者の声を紹介しながら、「きょうの料理」がお伝えしてきた＜料理の歴史＞を振り返り、節目のスタートを切る。

料理研究家の土井善晴さんは、父・土井勝さんが番組開始当初に考案したレシピを振り返り、平野レミさんは生投稿の質問やリクエストに答えながら料理をする。また、この59年の間に紹介した代表的なレシピを、その時代のニュース映像と合わせて総ざらい。料理から見る日本の社会の変遷を描くとともに、“これからの料理”を見つめる。



村上信夫さんの「ハンバーグ」（昭和55年）



土井勝さんの「ちらしずし」（昭和57年）

【MC】谷原章介、後藤繁榮アナウンサー

【ゲスト】土井善晴、平野レミ、阿佐ヶ谷姉妹 ほか

### ★ 時代を映し出してきた“レシピ” ★

毎日の食卓をより豊かにしていただくために番組で紹介してきたレシピは、いずれも、その時代を反映したものでした。番組開始当初の昭和30年代は、戦後の食糧難を脱し欧米の生活スタイルへの憧れが芽生えた時期で、本格的な西洋料理を家庭向きにアレンジしたメニューを積極的に紹介しました。昭和40年代には、村上信夫さんや陳建民さんなど一流シェフのレシピが人気を集める一方、核家族化が進み、「おせち料理」など「昔ながらの食の基本」を取り上げました。昭和50年代には“成人病”という言葉が生まれ、今で言う生活習慣病対策を意識した食事の企画が大ヒット。昭和60年代には忙しい人のための「スピード料理」が多く登場しました。また、平成以降は、中食・外食の発達もあり家庭での料理離れが指摘されるなか、手作りの楽しさや伝統的な和食の知恵などを紹介してきました。